

11月1日 全校集会

おはようございます。

今日から11月になりました。寒さを感じる日が増えてきましたね。

新型コロナウイルスの感染への注意だけでなく、風邪やインフルエンザにも注意して予防してください。

さて、今日は11月に関する話を二つしたいと思います。

あさって11月3日は「文化の日」ですね。

「文化勲章」が授与されるなど、文化に関するいろいろな行事が予定されています。

みなさんは、「文化」と聞くと芸術や音楽や美術などを思い浮かべる人が多いと思います。人間は、まだ文字がなかった原始時代から、絵を描いてきたことが知られていますね。洞窟の壁に描かれた絵が今も保管され、歴史の教科書などでも紹介されています。

絵を描く行動は、人間以外の動物ではなく、音楽も文学も芸術文化は人間だけが持つ特別な行動なのです。

歴史に名を遺す巨大な権力や富や財産を持った王様や皇帝や将軍などが最後に求めたのが「美の価値」や「芸術文化」でした。

「きれいだな。」と感じる気持ちは、もしかすると犬とか鳥などの動物にもあるのかもしれません、美しいと感じる心や奇麗に歌おうとか奇麗に描こうとする力は人間の持つ素晴らしい能力です。

日本には、世界に負けない芸術文化がたくさんあります。絵を描くことや工作が苦手な人も、生活の中で「いいなあ」「きれいだなあ」と感じることを苦手にしてはいけません。どうか、身近な景色や青空や夕焼けなどに「きれいだなあ」と感動することの積み重ねが、人生を豊かにする宝物だと思ってください。

二つ目は「読書」について話をします。10月27日から11月9日まで「秋の読書週間」となっています。

少し前に、文化庁が行った調査によりますと、「読書をすることの良いところは何だと思いますか。」の質問の結果、一位は「新しい情報や知識を得られる」、二位は豊かな言葉や表現を学べる、三位は「感性が豊かになる」、四位は「想像力や空想力が養われる」…と続いていました。

このように「読書」の効果が調査結果に出ているのに、「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」などの理由で、読書量が減っていることもわかりました。

咲州みなみ小中一貫校では、11月を「読書月間」としています。

皆さんには、今の間に本を読む楽しさを知ってもらいたいと願っています。読書の習慣が身についたら、自然に読書の時間もできます。本は、みなさんが何歳になんでも心を豊かにしてくれる身近なものです。心の栄養剤です。

11月は、芸術や読書を味わう時間がたくさん取れるといいなと願っています。

以上